

授業科目 身体障害作業療法学 III

【担当教員名】  今西 里佳	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：G10】  
 内部障害、神経難病、終末期に対する作業療法を行うために、病態を理解した上で、評価技法、治療・指導方法を習得する

- 【学習目標・行動目標：SBO】
1. 内部障害、神経難病、終末期の様々な疾患や障害の病態に関心を持ち、真摯かつ積極的な態度で学ぶことができる
  2. 内部障害、神経難病、終末期の各々の疾患や障害の臨床経過を述べるができる
  3. 内部障害に対する作業療法の目的・評価・治療技術について説明することができる
  4. 神経難病に対する作業療法の目的・評価・治療技術について説明することができる
  5. 終末期に対する作業療法の目的・評価・治療技術について説明することができる
  6. 内部障害、神経難病、終末期に対する作業療法の目標・治療内容について考えを述べるができる

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	内部障害に対する作業療法 呼吸器機能障害（1）	1～3,6	講義・演習、担当：今西 里佳
2	内部障害に対する作業療法 呼吸器機能障害（2）	1～3,6	講義・演習、担当：今西 里佳
3	内部障害に対する作業療法 呼吸器機能障害（3）	1～3,6	講義・演習、担当：今西 里佳
4	内部障害に対する作業療法 呼吸器機能障害（4）	1～3,6	講義・演習、担当：今西 里佳
5	内部障害に対する作業療法 下部尿路機能障害（1）	1～3,6	講義・演習、担当：今西 里佳
6	内部障害に対する作業療法 下部尿路機能障害（2）	1～3,6	講義・演習、担当：今西 里佳
7	内部障害に対する作業療法 下部尿路機能障害（3）	1～3,6	講義・演習、担当：今西 里佳
8	内部障害に対する作業療法 循環機能障害・代謝障害	1～3,6	講義・演習、担当：今西 里佳
9	終末期に対する作業療法（1）	1,2,5,6	講義・演習、担当：今西 里佳 他
10	終末期に対する作業療法（2）	1,2,5,6	講義・演習、担当：今西 里佳 他
11	神経難病の病態とその臨床的経過	1,2,4	講義・演習、担当：今西 里佳
12	神経難病に対する作業療法 神経変性疾患（1）	1,2,4,6	講義・演習、担当：今西 里佳
13	神経難病に対する作業療法 神経変性疾患（2）	1,2,4,6	講義・演習、担当：今西 里佳
14	神経難病に対する作業療法 神経・筋疾患（1）	1,2,4,6	講義・演習、担当：今西 里佳
15	神経難病に対する作業療法 神経・筋疾患（2）	1,2,4,6	講義・演習、担当：今西 里佳

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	作業療法学ゴールドマスターテキスト4 身体障害 作業療法学	長崎重信監修	メジカルビュー社	2010・5,400円＋税
参考書	福祉用具・住環境整備の作業療法 I・ADL 第3版 作業療法の戦略・戦術・技術	玉垣努編 生田宗博編	中央法規 三輪書店	2013・3,800円＋税 2012・5,400円＋税
その他の資料	配布資料			

【評価方法】 知識・技能の確認として小テストを実施する。また出席やレポート提出期日厳守、演習に意欲的に取り組む授業態度を重んじる。成績の70%は定期試験結果より評価し、30%は出席状況、レポート内容・提出、小テスト結果および授業態度より評価し、総合的に判断する。	【履修上の留意点】
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------